

研修名	<b>専門課程 道路計画〔機能・活用〕 【集合】</b> (昭和 40～平成 22 年度：「道路計画」、平成 23～24 年度：「道路機能高度化」)					
目的・重点事項	<p>道路の機能を高度化し、有効活用を図る上での課題に、柔軟に対応できる企画立案能力を向上させることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 他の交通機関との連携や既存の道路の最適利用など、道路の有効活用に関する企画立案能力の向上</p> <p>② 自転車、歩行者を含む多様な道路利用に関する企画立案能力の向上</p>					
対象者	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 係長、専門官、専門員又はこれと同等の職にあると認められる者</p> <p>② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者</p>					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	14	1	8	2		25
研修期間	50.0時間 10日間			令和5年10月24日(火)～ 令和5年11月2日(木)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(24.0)</p> <p>① 道路交通の現状と課題、これからの道路等(4.0)</p> <p>② 道路を賢く使う取組み、道路の有効活用、道路の高度情報化、TDMと社会実験、公共交通との連携、拠点施策の取組、モビリティ・マネジメント、モビリティ・デザイン、道路空間のオープン化、公共交通を軸としたまちづくりの事例等(20.0)</p> <p>2. 課題研究(14.0) (昨年度テーマ：①新技術や交通マネジメントを活用した渋滞対策の加速、 ②車だけでなく、マルチモードが共存する道路空間活用のあり方)</p> <p>3. 演習(7.0) 道路計画における合意形成の理論と実践</p> <p>4. 現場見学(3.0) (昨年度：新宿駅南口地区基盤整備事業)</p> <p>5. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 50.0</p>					
前年度からの主な変更点	・実施手法変更(ハイブリッド→集合)					
担当	建設部 建設技術研修分析官 (TEL: 042-321-0645)					
備考	テキスト代、実習教材費(予定)30,000円、現場実習費(移動交通費)(予定)1,200円					